



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月10日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)後藤 喜一
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)飯久保 明 (TEL)03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	2,348	△12.0	△289	—	△256	—	△1,112	—
2019年2月期第3四半期	2,669	△2.9	△157	—	△124	—	△143	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	△280.63	—
2019年2月期第3四半期	△36.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	2,680	1,985	74.0
2019年2月期	4,020	3,344	83.1

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 1,982百万円 2019年2月期 3,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	△12.2	△350	—	△320	—	△1,175	—	△296.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	3,963,600株	2019年2月期	3,960,900株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	299株	2019年2月期	299株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	3,962,505株	2019年2月期3Q	3,953,066株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「（4）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済の不確実性や消費税増税に伴う個人消費等への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当婚活市場におきましては、マッチングアプリの利用者の急増、街コン・婚活パーティ・各種イベントなど、お客さまのニーズの多様化もあり、市場規模全体としては、拡大しております。

このような環境の中、当社は「人と人のつながりを大切にし、出会いを創造する」という経営理念のもと、従来のデータマッチング中心のサービスから、マリッジコンサルタントがお客さま一人ひとりに寄り添いながら個々のニーズに対応する「パーソナル婚活支援サービス」に進化させるべく、ツヴァイ事業の構造改革を進めております。

当第3四半期会計期間においては、新規入会者を増加させるため、資料請求数増加対策、ご来店数増加対策及び入会契約率対策に取り組んでまいりました。

資料請求数増加対策としては、婚活意欲の高い層にターゲットを絞った訴求を行い、加えて訴求メディアの見直し、地方エリアではTVCMも実施いたしました。

ご来店数増加対策としては、ご来店受付センターの人員のスキルアップ研修や適正人員の確保などに取り組みました。

しかし、これらの対策はいずれも期待した効果をあげられず、資料請求数・ご来店数はともに減少となりました。

一方で、入会契約率対策として、入会契約率の低いマリッジコンサルタントに専属トレーナーをつけて実施したOJTは成果をあげ、入会契約率は向上いたしました。

上記のように、入会契約率は改善しましたが、資料請求数や来店数の落ち込みをカバーするには至らず、結果として新規入会者数は減少となりました。

次に、退会者数を減少させるための対策として、新設の成婚推進本部を中心に、活動サポートプログラムやお見合い型オプションサービスの拡大等、会員サービスの充実に取り組んでまいりました。これらの取り組みとインプレッションマッチングによる出会いの機会の増加等の相乗効果により、第3四半期会計期間の退会者数は、前年比90.2%まで減少しました。

このように、退会者数の減少では成果をあげてまいりましたが、新規入会者数が退会者数を上回ることができなかつたために、当第3四半期会計期間末の会員数は期首より減少となりました。

これにより、当第3四半期累計期間の業績につきましては、新規入会者減による入金売上上の減少と会員数減による月会費売上上の減少等により、売上高は23億48百万円と前年同期より3億21百万円の減収となりました。

売上原価については、入会者減少による入会コミッションの減少や周辺事業の効率化によるコスト減少等により前年同期より1億22百万円減少し12億90百万円となりました。

販売費及び一般管理費については、システム投資等による減価償却費は前年を上回りましたが、店舗閉店等による固定費の削減や郵送費等の一般費の削減等により前年同期より65百万円減少し13億47百万円となりました。

上記の結果、利益については営業損失2億89百万円（前年同期は営業損失1億57百万円）、経常損失2億56百万円（前年同期は経常損失1億24百万円）となりました。また、当第3四半期累計期間には、当社の保有するシステム等の固定資産について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失7億88百万円を計上したことにより、四半期純損失は11億12百万円（前年同期は四半期純損失1億43百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末から13億40百万円減少し、26億80百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べ1億69百万円減少し、14億38百万円となりました。主な要因は、設備投資や配当金等の支払いのために資金（現金及び預金と関係会社預け金の合計）が1億42百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前期末に比べ11億70百万円減少し、12億41百万円となりました。固定資産の減損損失7億88百万円による減少と、保有株式の期末時価評価による投資有価証券1億85百万円の減少と保険積立金の解約による60百万円の減少等によるものです。

(負債)

負債は、前期末から19百万円減少し、6億94百万円となりました。

流動負債は、前期末に比べ30百万円増加し、3億50百万円となりました。主な要因は、11月度に媒体を強化したことにより買掛金が24百万円増加したことと当第3四半期会計期間末が銀行休業日のため11月末日支払いが12月2日になったこと等により未払費用が8百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前期末に比べ11百万円減少し、3億44百万円となりました。主な要因は、リース債務等の減少によるものです。

(純資産)

純資産は、前期末から13億59百万円減少し、19億85百万円となりました。主な要因は、四半期純損失11億12百万円と配当金支払1億18百万円等により株主資本が12億29百万円減少したこと及び保有株式の時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が1億28百万円減少したこと等によるものです。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上しており、当第3四半期累計期間においても営業損失、経常損失及び四半期純損失を計上したことから、現時点において、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

しかしながら、当第3四半期会計期間末において、資金（現金及び預金と関係会社預け金の合計）の残高にて当面の間の運転資金が十分に賄える状況であり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、四半期財務諸表への注記は記載しておりません。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年1月10日付「2020年2月期 業績予想並びに配当予想修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	51,961	79,082
売掛金	502,871	464,762
前払費用	85,301	103,659
関係会社預け金	920,000	750,000
金銭の信託	43,730	25,194
その他	5,665	17,681
貸倒引当金	△1,409	△1,513
流動資産合計	1,608,121	1,438,865
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	53,188	—
工具、器具及び備品(純額)	82,332	—
リース資産(純額)	19,768	—
有形固定資産合計	155,289	—
無形固定資産		
ソフトウェア	711,503	—
ソフトウェア仮勘定	17,938	—
電話加入権	3,650	—
無形固定資産合計	733,092	—
投資その他の資産		
投資有価証券	1,013,819	828,281
敷金	318,560	284,356
保険積立金	181,448	120,694
その他	9,961	7,886
投資その他の資産合計	1,523,790	1,241,218
固定資産合計	2,412,172	1,241,218
資産合計	4,020,294	2,680,084

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,052	95,327
リース債務	12,091	11,586
未払金	38,070	39,099
未払費用	95,595	103,654
未払法人税等	14,830	9,648
未払消費税等	20,965	22,587
前受金	25,174	22,669
賞与引当金	14,991	37,894
設備関係未払金	6,382	3,046
資産除去債務	16,632	—
その他	3,324	4,490
流動負債合計	319,110	350,002
固定負債		
リース債務	10,917	2,033
繰延税金負債	226,893	226,547
退職給付引当金	44,460	40,687
資産除去債務	73,934	75,624
固定負債合計	356,205	344,893
負債合計	675,315	694,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,260	461,170
資本剰余金		
資本準備金	466,242	467,151
資本剰余金合計	466,242	467,151
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,890,000	1,580,000
繰越利益剰余金	△186,915	△1,107,759
利益剰余金合計	1,763,084	532,240
自己株式	△362	△362
株主資本合計	2,689,224	1,460,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	651,539	522,590
評価・換算差額等合計	651,539	522,590
新株予約権	4,214	2,398
純資産合計	3,344,978	1,985,188
負債純資産合計	4,020,294	2,680,084

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	2,669,215	2,348,061
売上原価	1,413,394	1,290,615
売上総利益	1,255,821	1,057,446
販売費及び一般管理費	1,412,893	1,347,177
営業損失(△)	△157,071	△289,731
営業外収益		
受取利息	1,407	941
受取配当金	30,307	32,589
その他	1,696	690
営業外収益合計	33,410	34,221
営業外費用		
雑損失	727	561
営業外費用合計	727	561
経常損失(△)	△124,388	△256,071
特別損失		
減損損失	—	788,334
固定資産除却損	6,587	242
賃貸借契約解約損	23,110	498
特別損失合計	29,697	789,075
税引前四半期純損失(△)	△154,086	△1,045,146
法人税、住民税及び事業税	10,732	10,644
法人税等調整額	△21,256	56,243
法人税等合計	△10,523	66,888
四半期純損失(△)	△143,562	△1,112,035

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。